

2026年7月

第54期(2026.9.1～翌8.31)

「監査役スタッフ研究会(本部)」 活動要領

監査役スタッフ研究会(本部)

担当事務局



進化するコーポレート・ガバナンスの担い手として

日本監査役協会

JASBA

内容

1. 活動期間および参加方法
2. 活動方針および研究テーマ
3. 研究の進め方
4. ご参加に当たって
5. 各回のご案内方法および年間開催予定

1. 活動期間および参加方法

(1) 活動期間

2026年10月 ～ 2027年4月(予定) ※原則、毎月1回、3時間

※ 後述の通り、新年度(第54期)の活動は、2年計画の2年目となります。

※ 新年度(2年目)は1年目の活動とは異なる監査項目を扱いますので、前年度に参加された方と新たに参加される方の活動環境は同一であり、前年度の知識を前提にしません。2年目から参加される方も安心してご参加いただけますので、ぜひともご検討ください。

(2) 参加方法

- 研究会活動にあたり、研究会メンバーをいくつかのチームに編成します。
- 参加者募集時に、希望する参加形態として、「**会場参加チーム**」か「**オンライン参加チーム**」か、これらの参加形態に特に希望はない「**どちらでも良い**」をお聞きます(この**チーム編成は期を通じて固定**です。**参加形態も期を通じてどちらかに固定**されますのでご注意ください。また、「**どちらでも良い**」を選択された方のチーム編成の扱いは事務局にご一任頂きます)。

※ ご希望はチーム編成に当たり考慮しますが、状況次第ではご希望に添えない場合もあり得ますので予めご了承ください。

- 「**会場参加チーム**」の会場は、当協会本部会議室(13階)です。
また、オンラインによる参加の場合、Microsoft社のTeamsを使用します。

2. 活動方針および研究テーマ(1/3)

(1) 活動方針

- 監査役スタッフ研究会は、監査役スタッフ自らが、監査役スタッフの果たすべき役割と監査手法等を研究し、その成果を発表することにより、スタッフ業務のレベルアップ、ひいては監査役等(監査委員会、監査等委員会、監事を含む)の監査の質の向上に資することを目指します。

(2) 研究テーマ

2022年版「監査役監査と監査役スタッフの業務」の見直し

※ 見直しは2年計画で行われており、新年度(54期)はその2年目の活動となります。

2. 活動方針および研究テーマ(2/3)

(2) 研究テーマ(続き)

- 2022年に当研究会が取りまとめた研究報告書「監査役監査と監査役スタッフの業務」(通称「業務マニュアル」)について、その後の法令等改正並びに実務の蓄積等を踏まえて、最新の情報にアップデートすべく、2年計画にて見直しを行っています。新年度(54期)は、主として、期末監査と監査役会等の運営、その他の事項について研究していきます。

(*) 2022年版「監査役監査と監査役スタッフの業務」

<https://www.kansa.or.jp/support/library/post-6348/>

2. 活動方針および研究テーマ(3/3)

(3) 「業務マニュアル」の構成と内容（下記は2022年版「業務マニュアル」の構成と内容です）

■ 「本体部分(業務マニュアル)」

監査役スタッフの活動を具体的かつ網羅的に記述した監査役スタッフの業務マニュアル。年間の監査役(スタッフ)活動を82項目のモジュール(M01～M82)に区分し、その区分ごとに、業務のポイント、各社の事例などを共通の書式で整理。

■ 「監査業務支援ツール」

監査業務の遂行に役立つツールを集めたツール集。監査の各場面に応じて53に及ぶ各種の書類・書式(ツール)を収録。

■ 「アンケート調査」 ※本年7月下旬、本アンケート調査を発出予定

ほぼ5年に一度の頻度で当協会登録の監査役スタッフを対象に実施するアンケート調査。内容は監査役スタッフの「意識調査」と「業務実態」から成る。

3. 研究の進め方

- 参加メンバーの中から幹事をお願いし、幹事会を構成し、幹事会を中心として研究活動を行います。毎月の研究会会合では、予め幹事会において策定された年間の活動計画に従い、検討を進めます。
- 研究会会合は、原則、毎月1回14:00～17:00(3時間)で開催します。
冒頭に「全体会議」を開催し、その後、「チーム会議」を行います。
- 前述のとおり、参加メンバーをいくつかのチームに編成します(前期実績では1チーム当たり7名程度。新年度については参加者数等を踏まえ改めて検討します)。チームは、「会場参加チーム」と「オンライン参加チーム」に分けられますが、各回の参加形態はチームごとに柔軟に対応することとします。

4. ご参加に当たって

- 研究会へのご参加は無料です。
- 参加者全員に自発的に議論に参加していただきます。また、自社で実践されている監査方法の紹介や資料の提供等を可能な範囲でお願いしています。月1回の研究会会合にできるだけご参加いただくことを原則としますが、会社業務等やむを得ない事情も運営上考慮してまいります。
- 活動期間中は会合にできるだけご参加いただくとともに、事前準備や定められた期間内で検討結果の取りまとめ等の作業負担も発生しますのでご了解下さい。
- 同じチーム内はもちろん、研究メンバー相互の意見・情報交換を通じて交流を深めたり、任意ではありますが時間外での懇親を深めることも可能です。
- 原則として期(第54期)の途中からのご登録・ご参加はできません。

5. 各回のご案内方法および年間開催予定

- 研究会に参加申込みをされた方に対し、開催日の2～3週間前を目途に、電子メール(当協会にご登録のアドレス)宛に開催案内(出欠確認)をお送りします。
- 新年度(第54期)の研究会会合の開催予定日は次の通り(時間は「14:00～17:00」)。

回	開催日
第1回	2026年 10月30日 (金)
第2回	11月30日 (月)
第3回	12月17日 (木)
第4回	2027年 1月15日 (金)
第5回	2月17日 (水)
第6回	3月18日 (木)
第7回	4月28日 (水)



進化するコーポレート・ガバナンスの担い手として
日本監査役協会